

「教育ボランティア ニュースレター」は年2回発行しています。第6号ができましたので、お届けいたします。

# 教育ボランティア ニュースレター

第6号

発行日 平成22年3月

## 教育ボランティアさんに「バイタルサインズの測定」「足浴」の演習にご協力していただきました。

平成21年10月28日（水）、6名の教育ボランティアの方にご協力していただき、「基礎看護技術演習Ⅰ」において「バイタルサインズの測定」の演習をおこないました。

この演習では、ボランティアの方に、倦怠感があり入院や検査に対して緊張している状態の患者役を演じていただき、バイタルサインズ（体温、脈拍、呼吸、血圧）の測定および状態を観察するためのコミュニケーションに応じていただきました。学生は、クラスメートや教員とは違う、初めての方に接するという緊張感の中、一生懸命コミュニケーションを図りながら、体温や血圧を測定させていただきました。



学生の援助終了後の意見交換では、教育ボランティアの方から「援助する看護師の手が冷たいため温めておいた方がよい」「測定し終わったら衣服を整えてほしい」等の意見をいただき、手技に集中するだけでなく援助前から援助後にかけて、患者さんに配慮することの必要性について学ぶことができました。また、「笑顔で丁寧に声をかけてくれた」「手の感触で優

しさが伝わった」「伝えるべきことはもう少し自信を持って伝えるとよい」等の意見もいただき、学生は、自己の態度や説明について振り返り学ぶ機会にもなりました。

また、11月4日（水）には、「足浴」の演習をおこないました。この演習では、ボランティアの方に、倦怠感と発熱のために3日間入浴しておらず足先が冷たく感じると訴える患者役を演じていただき、ベッド上に臥床した状態での足浴に応じていただきました。



**「学内ボランティア」さんは、現在も募集中です。学生の教育に是非ご協力ください。**

編集・発行

神戸市看護大学

健康支援地域連携センター

教育・研究部門 ニュースレター

背の高い患者さんに対しては、ベッドの足元のベッド柵が援助の妨げになり、ベースンの中うまく足が入らず、汗をかきながら何度もやり直しをさせてもらいながら行ないました。また、難聴のある患者さんに対しては、聞き取りやすい側からコミュニケーションを図ったりし、その患者さんやその状況に応じた援助を考えて行なおうとしている学生の姿勢に素晴らしいと感じたとともに、このように、教育ボランティアの皆様

にご協力していただくことにより、その時その場での言動を受けて対応していく力を習得する、有効な学習の機会となっていることを実感しました。

これからも、教育ボランティアの皆様にご協力していただきながら、学生の学びを深めていきたいと考えています。

今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。